

# (仮称)天童南スマートIC整備で期待される効果について



市制施行60周年記念  
「二千局万来」ギネス世界記録樹立記念モニュメント

山形県 天童市



# 1. 位置図（周辺インターとの位置関係）



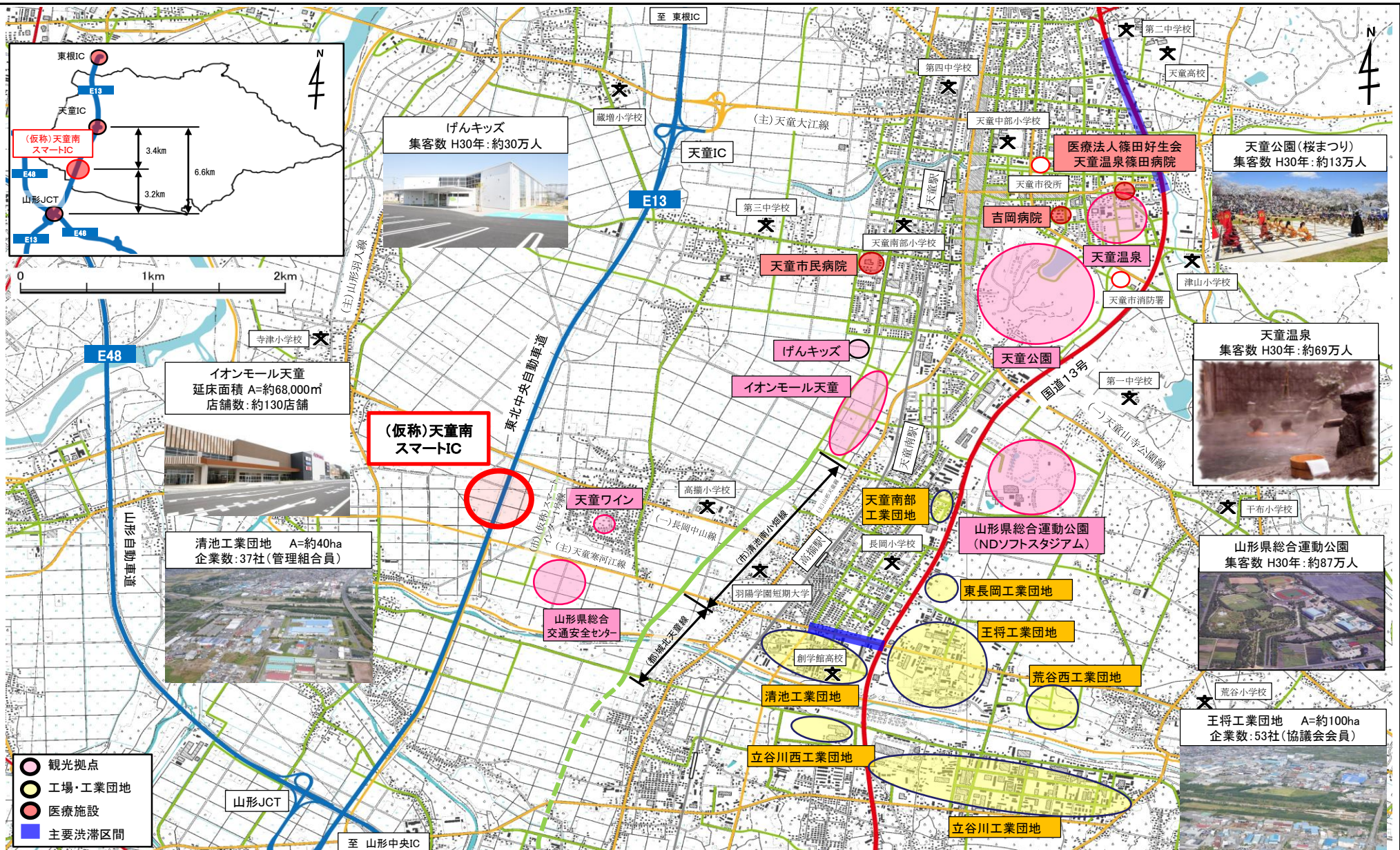
交通量資料: 高速道路と自動車 (R元.10月号)  
(出典) 公益財団法人 高速道路調査会

# 2. (仮称) 天童南スマートインターチェンジ計画地

やまがたけんてんどうしかだま  
計 画 地 : 山形県天童市高揃



# 3. (仮称) 天童南スマートインターチェンジ計画地と周辺施設



観光施設における観光局数の推移(平成30年度)  
 天童市商工観光課調べ

整備効果①：経済活動活性化への支援

整備効果②：新市街地のアクセス向上による定住人口の拡大

整備効果③：観光周遊ルート形成による地域振興

整備効果④：救急医療活動への支援

整備効果⑤：防災活動への支援

## ①経済活動活性化への支援

- スマートインターチェンジの整備により、周辺の工業団地から高速道路へのアクセスが向上し、時間短縮による物流の効率化が期待される。

## ②新市街地のアクセス向上による定住人口の拡大

- スマートインターチェンジの整備により、新市街地(芳賀タウン)から高速道路へのアクセス性向上や渋滞回避した大型商業施設及び集客施設への移動が可能となり、利便性向上による定住人口拡大及び交流人口の拡大が期待される。

## ③観光周遊ルート形成による地域振興

- スマートインターチェンジの整備により、本市への移動時間の短縮が図られ、観光の選択肢が広がり、新たな観光周遊ルートが形成され、観光の活性化や交流人口の拡大が期待される。

## ④救急医療活動への支援

- スマートインターチェンジの整備により、脳梗塞や心筋梗塞等の重篤な患者の救急搬送について、第3次救急医療施設である山形県立中央病院への迅速な搬送が可能となる。

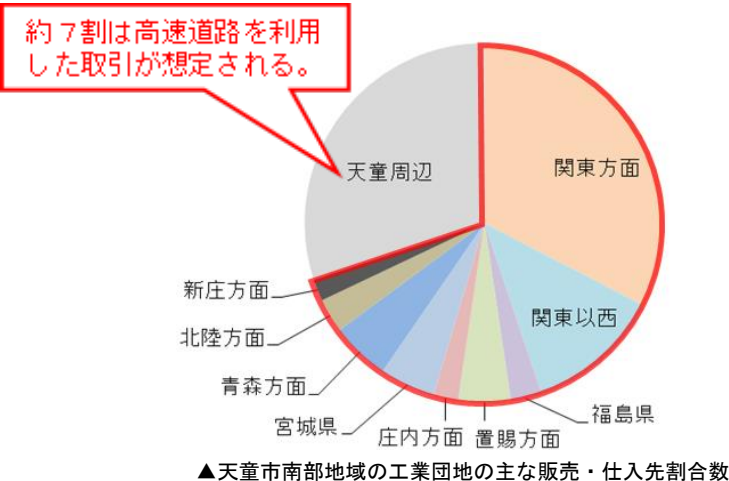
## ⑤防災活動への支援

- スマートインターチェンジ整備箇所が、洪水浸水想定区域外にあることから、想定しうる最大級の局地的大雨による最上川等の河川氾濫時においても周辺ICの代替ICとして、支援物資の緊急輸送路が確保され、広域的な防災機能の向上が期待される。

# 4. (仮称) 天童南スマートインターチェンジの整備効果 その2

## ①工業団地へのアクセス性向上による生産性向上の支援

・天童市の南部には、「清池工業団地」「王将工業団地」「荒谷西工業団地」などが整備されており、その販売・仕入先は、県外の企業と幅広く取引を行っている。スマートインターチェンジの整備により工業団地からもよりICまでの距離が短縮され、物流の効率化、生産性の向上が期待される。



○現在、働き方改革により、ドライバーの負担軽減のため、運送時間の短縮が課題となっています。(主)天童寒河江線1本で高速道路へアクセスできれば、秋田方面、関東方面どちらへのアクセスできるため運送時間の短縮にもつながり、とても利用価値があります。  
 (運送会社ヒアリング)

○現在は、山形北ICを利用し、毎日30回、酒田・飽海方面、鶴岡・田川方面への配送を実施しております。(仮称)天童南SICが整備されれば最寄インターとなり、配送時間の短縮が期待されます。  
 (地元新聞社ヒアリング)

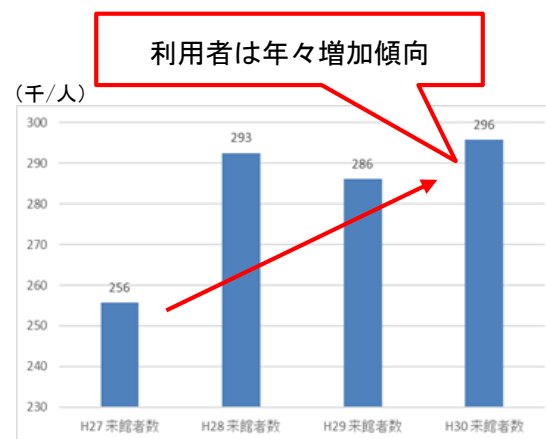
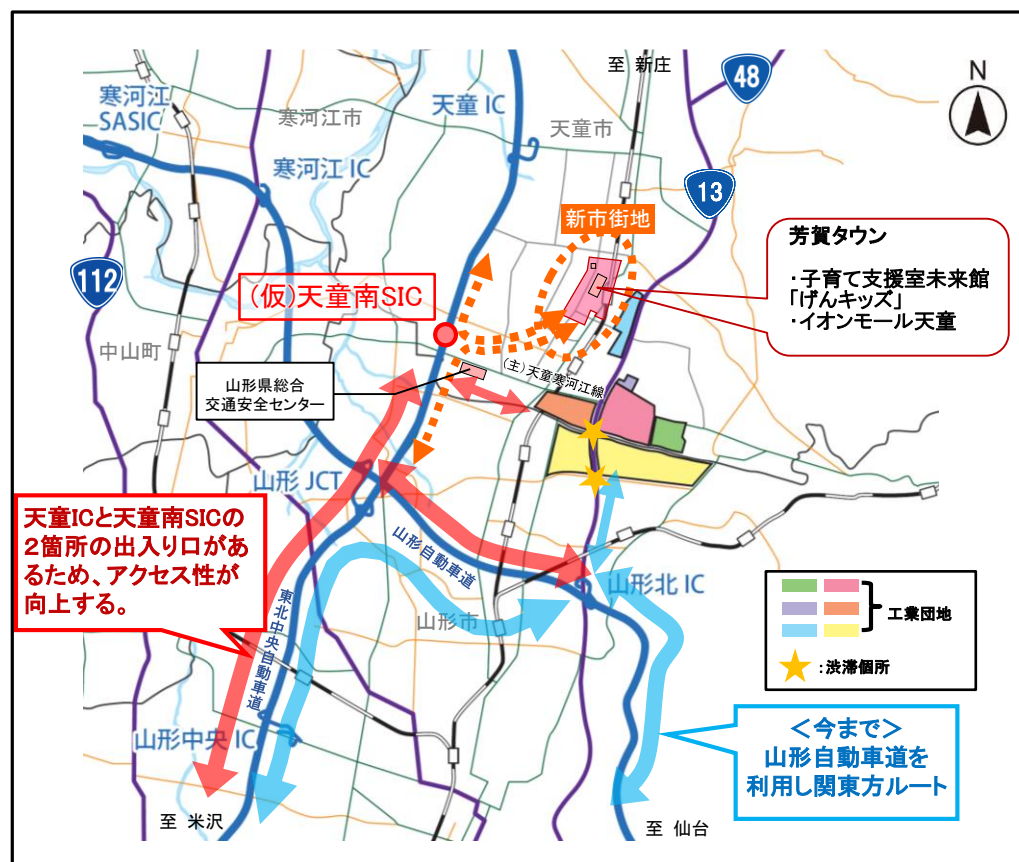


▲地元業者への聞き取り結果

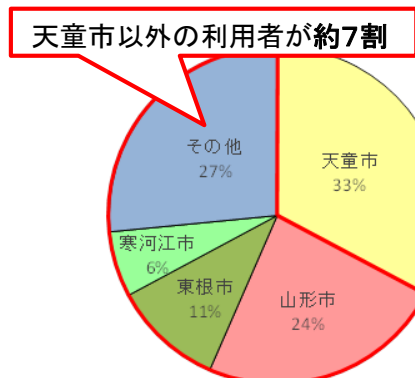
# 4. (仮称) 天童南スマートインターチェンジの整備効果 その2

## ②新市街地のアクセス向上による定住人口の拡大

- ・天童市が、人口維持を目的に安心して子育てができる街として整備を進めてきた芳賀タウンは9割分譲が完了し、計画人口として4千人（令和8年度予定）を見込んでいる。また、平成27年度には、子育て支援施設が開園しており、近隣市町村からの利用も多い。スマートICの整備により、新市街地の更なる利便性向上が期待される。



▲げんキッズの来館者推移 (H27～H30年度)



▲げんキッズの来館者内訳 (H27～H29年度)

## ③観光周遊ルートの形成による地域振興

・天童市の観光入り込み客数は年間約250万人台で推移しており、更なる観光誘客（年間260万人台）に向け、隣接する山形市の「山寺（年間約80万人）」や寒河江市、中山町の観光施設と連携した周遊ルート形成による観光産業活性化を図っている。スマートICの整備は周遊ルート形成に欠かせない交通施設であり、天童市観光の玄関口としての機能が期待される。

● : 主要観光地

固遊観光ルート(例)

- 山寺・天童温泉コース①
- 山寺・天童温泉コース②

旧柏倉森 ※イベント時利用者数：2千人（限定公開）



天童公園 ※年間利用者数：約42万人



観光果樹園 ※年間利用者数：約10万人



山寺 ※年間利用者数：約80万人





※利用者数は天童市商工観光課及び中山町観光振興課への聞き取り結果（平成30年度最新）

### ＜主なイベントカレンダー＞

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
天童織田藩將軍家献上寒中挽き抜きそばまつり	●	●				
天童高原スノーパークフェスタ		●	●			
天童雛祭り		●	●			
天童桜まつり(人間将棋)				●	●	
しだれ桜のタベ				●	●	
天童つじの里まつり					●	
おくのほそ道天童紅花まつり						●
TENDO JONDANA FESTIVAL(ジャズフェスティバル)						●
天童夏まつり						●
天童高原まつり						●
天童秋まつり						●
将棋フェスティバル						●
天童高原新そばまつり						●
天童冬の陣 令和鍋合戦						●
観光果樹園もぎどしスケジュール						●

年間を通じたイベント開催により誘客を図っている。

加温さくらんぼ ●

さくらんぼ ●

ぶどう ●

プラム・もも ●

りんご ●

ラ・フランス ●



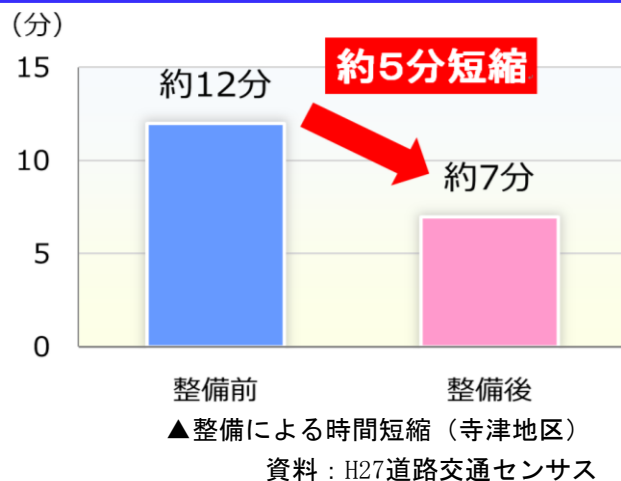
# 4. (仮称) 天童南スマートインターチェンジの整備効果 その3

## ④救急医療活動への支援

・天童市の救急搬送の約5割が山形県立中央病院へ搬送している。スマートICの整備により、脳梗塞や心筋梗塞等の重篤な患者の第3次救急医療施設である山形県立中央病院への迅速な搬送が期待される。また、スマートIC予定地から山形県立中央病院までのルートは整備前にくらべ搬送時間が約5分短縮し、搬送患者の負担軽減が期待できる。



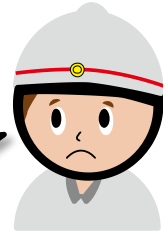
▲寺津地区から山形市内方面への救急搬送状況



救急搬送時の高速道路利用は時間短縮だけでなく、振動やブレーキ操作による患者への負担がなく、メリットは大きなものがあります。救急搬送の多くは山形市内であり、天童ICが市街地より北側に位置するため、現在は一般道を利用した搬送がほとんどです。

スマートインターチェンジにより、東北中央道を利用したルートが確立され、搬送時間の短縮や患者への負担軽減、積雪時の安心した搬送等の効果が期待できます。

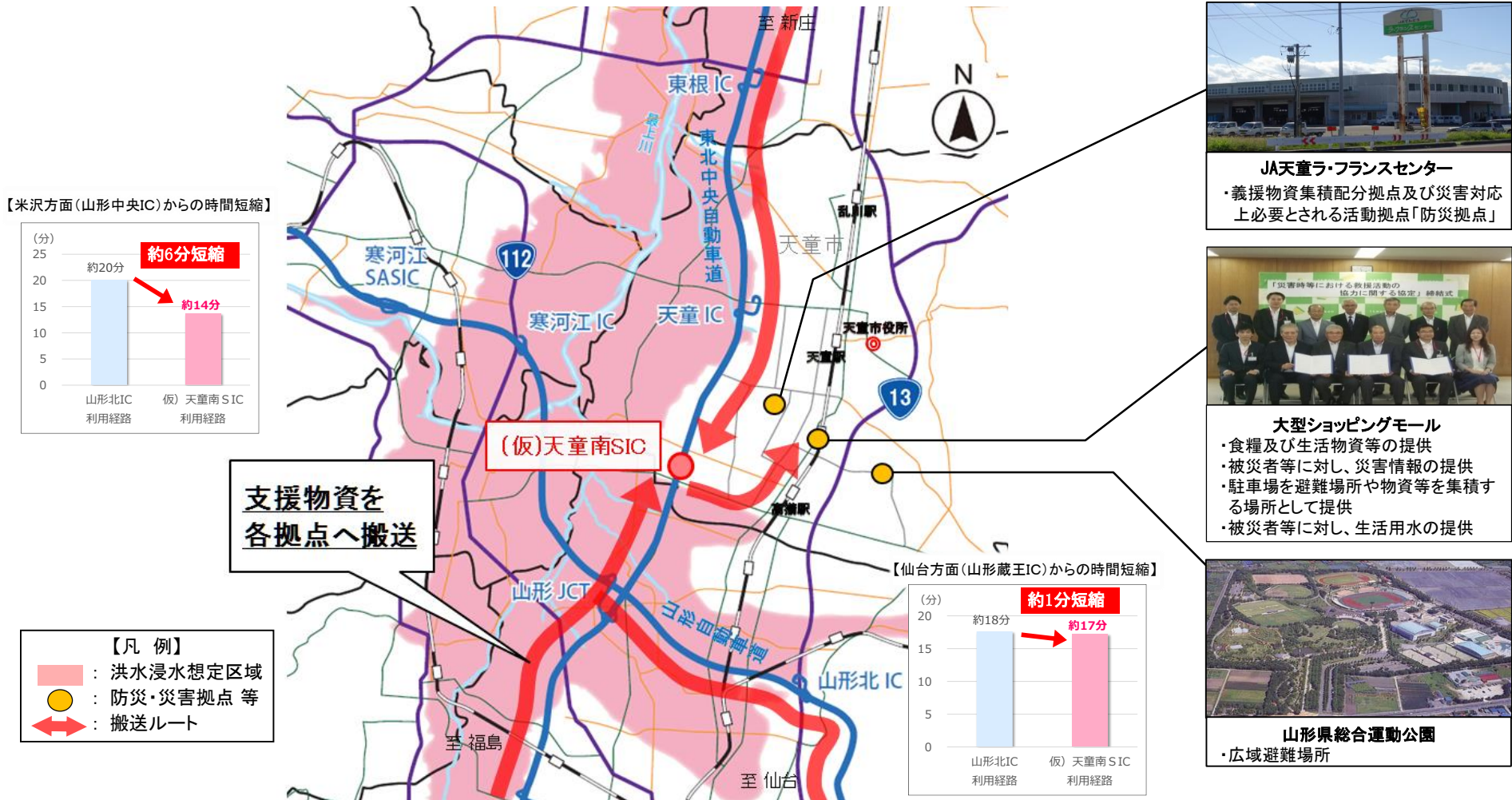
(天童市消防本部ヒアリング)



▲消防関係者への聞き取り結果

## ⑤防災活動への支援

- 今後、起こりえる地震災害や市の西部を流れる一級河川最上川氾濫時を想定した防災活動において、河川氾濫区域を避けて、防災活動の拠点や支援物資収集拠点・広域避難所などへアクセスが可能となる。



**JA天童ラ・フランスセンター**  
 ・義援物資集積配分拠点及び災害対応上必要とされる活動拠点「防災拠点」



**大型ショッピングモール**  
 ・食糧及び生活物資等の提供  
 ・被災者等に対し、災害情報の提供  
 ・駐車場を避難場所や物資等を集積する場所として提供  
 ・被災者等に対し、生活用水の提供



**山形県総合運動公園**  
 ・広域避難場所